



ACTY

TRUCK

LIFTER V 350(垂直式)

取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

このたびはホンダ車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この取扱説明書は、**ACTY TRUCK LIFTER V 350**に装備された
専用機構の取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容については **ACTY TRUCK** 取扱説明書をご覧ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。



アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています)



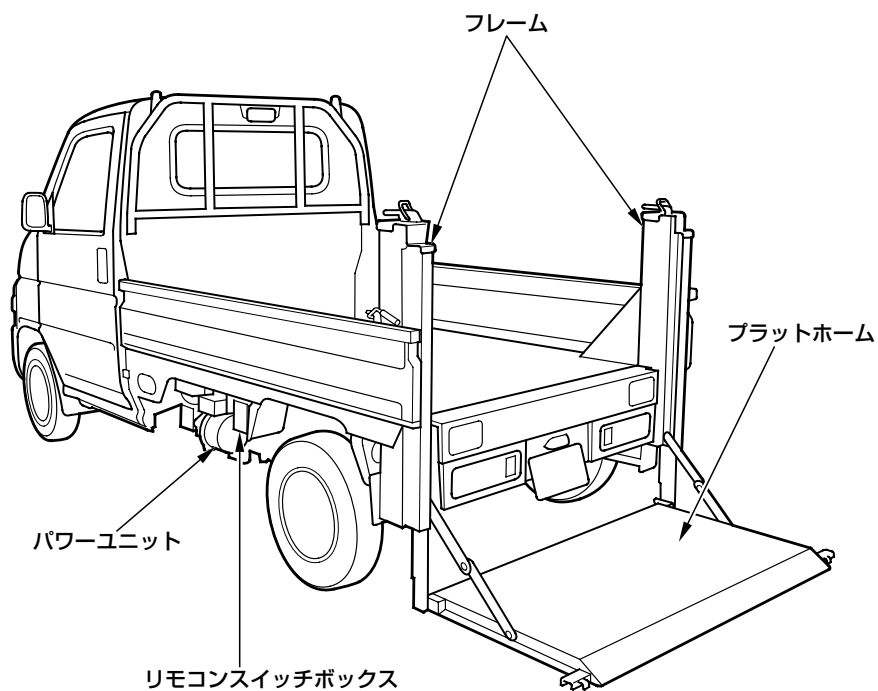
知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

もくじ

各部の名称	3
必読ポイント	4
リフターの使いかた	
プラットホーム	6
リモコンスイッチボックス	9
万一のとき	
故障車をけん引するとき	10
プラットホームが昇降できないとき	10
点検整備方式	12
サービスデータ	13

各部の名称



必読ポイント

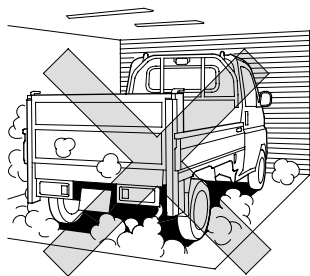
坂道での昇降操作はしない。

- 昇降操作は、必ず平坦な場所で、周囲の安全に十分注意して行ってください。坂道では車や荷物が不安定になり、転倒や落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。



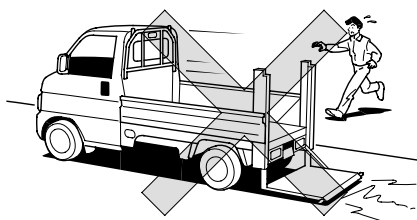
車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしない。

- 車内や屋内などに排気ガスが侵入し、酸化炭素中毒のおそれがあります。



プラットフォームを倒したり、降ろした状態での車の移動はしない。

- プラットフォームを倒したり、降ろした状態での車の移動は、リフトや車両が破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

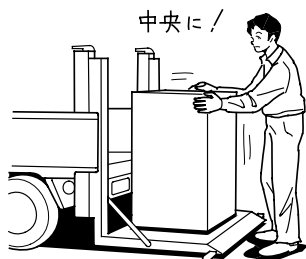


最大リフト荷重を守って。

- この装置の最大リフト荷重は、350kgです。これを超えての昇降操作は、装置の故障の原因になるばかりでなく、プラットフォームがいきおいよく下りるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。最大リフト荷重を超えて使用しないでください。

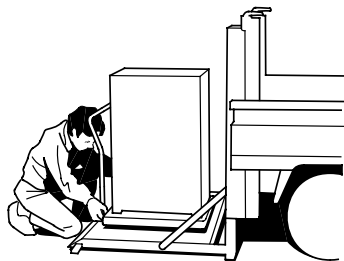
積み荷はプラットフォームの中央に載せる。

- 荷物はできるだけプラットフォームの中央に載せ、荷崩れしないように積んでください。



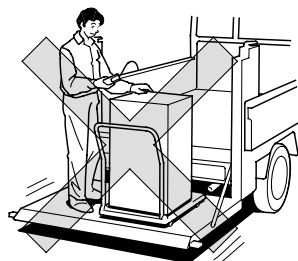
昇降操作をするときは、荷物を固定する。

- 重いものをプラットフォームに載せると、車は後ろ下がりになります。台車など、車輪の付いているものや倒れやすいものは、歯止めをしたり、固定をするなどをして落下防止をしてください。



プラットフォームに乗って昇降操作をしない。

- プラットフォームに人を乗せたり、乗ったまま昇降操作をしないでください。転倒や落下など思わぬ事故につながります。



リフターの使いかた

プラットフォーム

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のとき、プラットフォームの昇降操作が行えます。

⚠ 注意

- プラットホームの昇降操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
次のことをお守りください。
 - ・ プラットホームの昇降操作は、必ず平坦な場所で周囲の安全に十分注意して行ってください。
また、パーキングブレーキは完全にかけてください。
 - ・ プラットホームを降ろす前に、プラットフォームの作動範囲内に人や障害物がないことを確認してください。
 - ・ 指などをはさんだりしないでください。
- プラットホームを倒したり、降ろした状態での車の移動は、絶対にしないでください。
- 荷物はできるだけプラットフォームの中央に載せ、荷崩れしないように積んでください。
- 重いものをプラットフォームに載せると、車は後ろ下がりになります。
台車など、車輪の付いているものや倒れやすいものは、歯止めをしたり、固定をするなどをして落下防止をしてください。
- エンジンをつけた状態で昇降操作をするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。



アドバイス

- リモコンスイッチは、連続して30秒以上押し続けしないでください。バッテリー上がりの原因となったり、故障の原因になります。
- フレームにロープをかけたり、強い力を加えないでください。フレームが曲がり、昇降不良など故障の原因になります。



知識

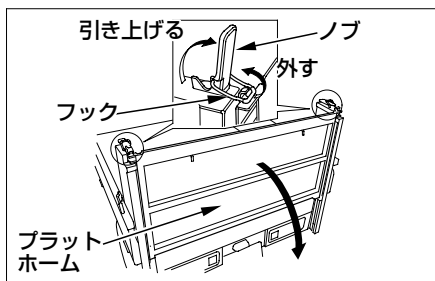
- このリフターは、構造上長期間の使用の際にプラットホームが若干右下がりに傾く場合があります。左右の高さの差が5 mm以上発生した場合は、ホンダプリモ店でワイヤーの調整を行ってください。

調整の目安 ……………

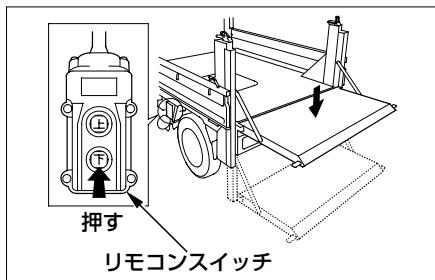
昇降操作約10,000回ごと

●降ろしかた

- ① プラットホームを手で押さえながら、左右のノブを引き上げてフックを外し、プラットホームが止まるまで静かに倒します。

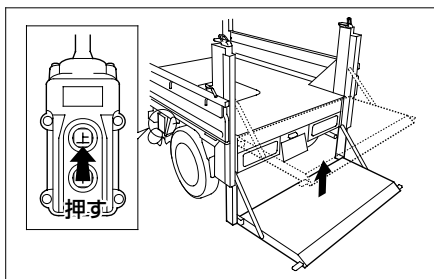


- ② リモコンスイッチの“下”ボタンを押して、プラットホームを降下させます。ボタンを押している間、プラットホームは降下します。また、途中でボタンから手を離せば、その場で停止することができます。

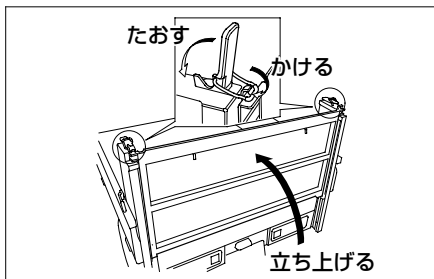


●上げかた

- ① リモコンスイッチの“上”ボタンを押して、プラットホームを上昇させます。ボタンを押している間、プラットホームは上昇します。また、途中でボタンから手を離せば、その場で停止することができます。



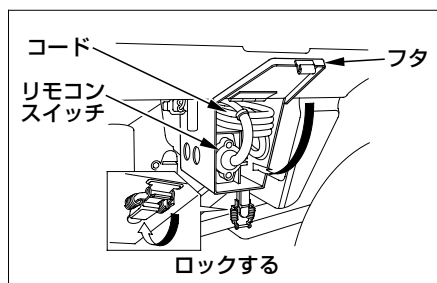
- ② 完全に上昇したらプラットホームを立ち上げ、左右のフックで固定します。



リモコンスイッチボックス

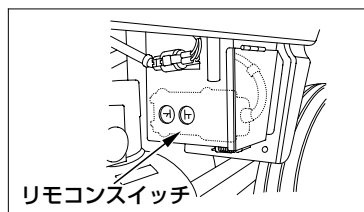
リモコンスイッチを下側に、コードを上側に格納します。

格納時には、フタを閉めてロックをしてください。



知識

- リモコンスイッチは、スイッチボックスに格納した状態で、スイッチを操作することができます。



万ーのとき

故障車をけん引するとき

ACTY TRUCK取扱説明書に記載してある後部のけん引フックは、リフターを架装しているため取り外してありますのでけん引はできません。



アドバイス

- フレームにロープをかけたり、強い力を加えないでください。フレームが曲がり、昇降不良など故障の原因になります。

プラットフォームが昇降できないとき

プラットフォームが昇降できないときは、バッテリーを点検してください。バッテリーがあがっていないのに、プラットフォームが昇降できないときは、ヒューズ切れが考えられますので、ヒューズを点検してください。

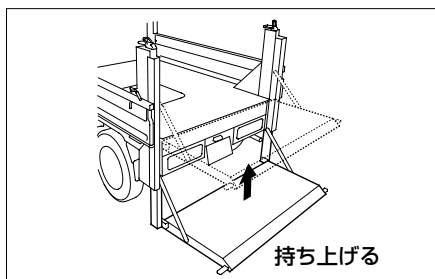
電気系統が異常のとき

→ACTY TRUCK取扱説明書

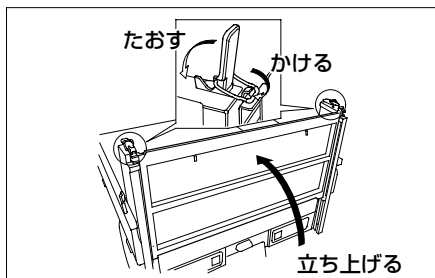
ヒューズが切れていないのに、プラットフォームが昇降できないときは、装置の故障が考えられます。降りたままのときは手動で格納し、ホンダプリモ店へご連絡ください。

●手動格納のしかた

- ① プラットホームをいっばいに持ち上げます。



- ② プラットホームを立ち上げ、フックで固定します。



⚠ 注意

- プラットホームは持ち上げた状態では固定されません。プラットホームが落ちてけがをしないように確実にフックで固定してください。また、固定した後はフックを外さないでください。フックを強制的に外すとプラットホームがいきおいよく飛び出しけがをすることがあります。必ず、ホンダプリモ店で点検を受けてください。その際には、手動で格納したことを必ず販売店へお伝えください。
- プラットホームに指などをはさんだりしないように、十分注意してください。

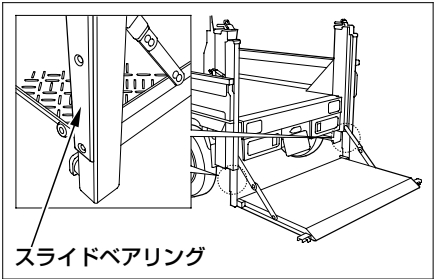
🎓 知識

- プラットホームは重いので、一人では作業が困難な場合があります。プラットホームが持ち上がらないときは、無理をせずホンダプリモ店へご連絡ください。

点検整備方式

点 検 項 目			点 検 整 備 時 期			
			日 常 点 検	6 カ 月 ご と	12 カ 月 ご と	24 カ 月 ご と
油 圧 関 係	パ ワ ー ユ ニ ッ ト	オイルの漏れ	○	○	○	○
		異音	○	○	○	○
		取付ボルトのゆるみ			○	○
	シ リ ン ダ ー	オイルの漏れ	○	○	○	○
		異音	○	○	○	○
	油 圧 配 管 と 接 続 部	オイルの漏れ	○	○	○	○
配管のキズ、接続部のゆるみ				○	○	
リ フ タ ー 関 係	フ レ ー ム	取付ボルトのゆるみ			○	○
		変形	○	○	○	○
	プ ラ ッ ト ホ ー ム	開閉作動部のがた、変形、傾き	○	○	○	○
	固 定 フ ッ ク	ガタ(固定状態にて)、変形	○	○	○	○
	ワ イ ヤ ー	ホツレ、折れ、曲がり、変形(給油、グリース)		○	○	○
電 気 関 係	配 線	損傷、たるみ			○	○
	接 続 部	接続部のゆるみ			○	○
	ス イ ッ チ	接触、外傷	○	○	○	○

給油／グリースアップについて
 グリースアップは、スライドベアリングに定期的(3ヵ月ごと)に行ってください。その他の回転部分などで異音が発生したときは、給油してください。



サービスデータ

項 目		タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ ^{*1}
		前輪	後輪	スチールホイール
タイヤサイズ	145R12- 8 PR LT	220(2.2)	450(4.5)	12×3.50B

タイヤの溝の深さ ():高速走行時	1.6mm以上 (2.4mm以上 ^{*2})
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000kmごと

※1：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずホンダプリモ店にご相談ください。

※2：タイヤの残溝の深さが2.4mm未満のときは、80km/h以上の高速走行をしないでください。

項 目	サ ー ビ ス デ ー タ	
最 大 リ フ ト 荷 重	350 kg	
上 昇 時 間 (無 負 荷 時)	6～10秒(常温時)	
下 降 時 間 (無 負 荷 時)	8～12秒(常温時)	
パ ワ ー ユ ニ ッ ト オ イ ル	推奨オイル	ISO VG46相当
	交換時期	12ヵ月ごと
	規定量(交換時)	0.7ℓ

